

議会だより

ワットサム

※「ワットサム」とはアイヌ語でワット（にれの木）・サム（傍）という意味で、わっさむの由来です。

第113号 2023年11月20日

お客様との関わりが私のやりがい
表紙の説明（17ページ）

- P 2 令和4年度決算審査
- P 5 こんなことが決まりました 安定営農を後押し
- P 8 一般質問 4議員が登壇
- P 12 追跡！あの一般質問どうなった？
- P 16 パツと伝わる広報誌へチャレンジ！
- P 18 町民インタビュー聞かせて トランポリンクラブ少年団

行財政改革の一層の推進を

令和4年度の一般会計、5特別会計の決算は、令和5年10月23日～24日の2日間にわたり、議長と議会選出監査委員を除く6名で構成された決算審査特別委員会（窪田委員長・池澤副委員長）で審議されました。

採決の結果、各会計とも全員賛成で認定すべきものと決定しました。

※収入未済額は1805万円で、主なものは、町税1096万円、公営住宅使用料208万円、国民健康保険税385万円でした。

厳しい社会情勢の中で納税している町民の不安感を抱かせることのないよう、公平公正な観点からも町には滞納金徴収の更なる努力を求めます。

本町の行政がもたらす様々なサービスと恩恵を広く町民が享受し、町民満足度も一層高められるよう、各種施策の展開を要望します。

※収入未済額とは…予定される収入金額を決定したのち、期限までに納入されなかった金額。

令和4年度一般会計決算額

歳入 48億4569万2040円 （前年度対比 93.88%）

歳出 47億1674万9360円 （前年度対比 95.01%）

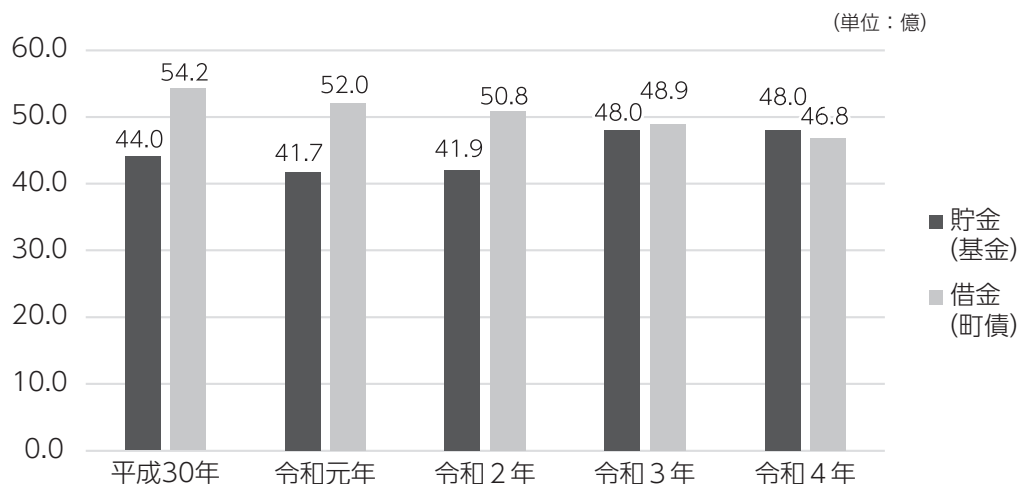
町の貯金（基金）

48億357万5128円

町の借金（町債）

46億826万7000円

令和4年度決算の詳しい内容は、広報わっさむ12月号をご覧ください。



基金、
町債の残高状況
（過去5年）

一般会計の収支は1億2千万円の黒字。

財政は黒字



来年度予算へ反映を

埋立ごみ収集量が大幅に減少

ごみの有料化・不法投棄

Q ごみの有料化に伴い西和処分場では、どの程度埋立ごみの量に変化があったのか。

A 令和3年10月から3月までの月平均埋立量51トン、令和4年同時期は11.7トンで8割近く減少傾向。

Q 広報7月号に、リサイクルセンター入口前の不法投棄が掲載されていた。

現在、不法投棄防止の手作り看板があるが、しっかりしたもので作成しては。

A 広報誌に掲載してから、不法投棄の事例はないが、看板作成は今後検討する。

不妊治療費

Q 令和4年度から不妊治療が保険適用になったが、本町の対応は。

A 従来どおり、不妊治療費の自己負担額を上限なしで継続して補助していく。

今後、国や道の動きも見ながら、交通費等も検討していきたい。



ふるさと納税

Q 本町で委託しているポータルサイトの寄付件数と寄付額、本町のふるさと納税返礼品人気ベスト5は。

A 寄付件数と寄付額、返礼品人気ベスト5は左表のとおり。

ふるさと納税ポータルサイトの寄付件数と金額

サイト名	件数	金額
楽天	862件	1083万9000円
ふるなび	607件	820万3000円
ふるさとチョイス	565件	804万円
さとふる	516件	572万4000円
JAL	44件	50万4000円
三越伊勢丹	38件	78万1000円

令和4年度 和寒町ふるさと納税返礼品ベスト5

- | | |
|-------------|------------|
| 1位 和寒ジンギスカン | 4位 塩狩サフォーク |
| 2位 お米 | 5位 秋野菜セット |
| 3位 メロン | |

ヒグマ対策の強化

ヒグマの対応

Q 猟友会の会員数は。

A 令和4年度末で7名、今年度は9名。

Q ヒグマが出没した場合の対応は。

A 熊の注意看板を設置し、市街地に近い場所や繰り返し出没がある場所は、猟友会と対応を検討し、檻などを設置している。



検定試験の補助

Q 令和4年度、英語検定の受験者は何人か。

A 小学生は3級から4級まで3名。

中学生は準2級から5級まで58名。

Q 生涯学習活動推進補助の事業内容と利用者数は。

A この事業は、町内在住の高校生以上の英語検定等の受験料を2分の1補助している。

令和4年度利用者は英語検定3人、漢字検定1人、数学検定1人。

三和浄水場



Q 三和地区で水道から変色した水が出たようだが、状況は

A 8月の大雨時に、色が付かないよう、ろ過速度を適正に調整するべきだった。水質上は問題ない。

公営住宅

Q 令和4年度末の公営住宅の空き戸数は。

A 公営住宅は管理戸数328戸のうち、空きが101戸、ジユネスハウスと若草団地の特公賃は60戸のうち21戸が空きとなっている。

Q 空き戸数の解消方法は。

A 若草団地については移転の願いをし、他の空いている住宅はこれからも入居募集を続けていく。



▲西町団地

安定営農を後押し

新たな技術導入などに補助金

9月 定例会

第3回定例会は、9月14日～15日で開催しました。
奥山町長の行政報告のあと、4名の議員が一般質問を行いました。
その後、条例の一部改正や補正予算等の審議が行われ、全て原案のとおり可決しました。



▲農薬散布以外にも活用が期待される農業用ドローン

麦・大豆の生産拡大や設備投資に支援

てん菜から需要の高い作物への転換

近年、てん菜から製造される砂糖は、ダイエツトや健康志向などにより消費量が減少しています。
てん菜から需要の高い作物等への転換を促すため10アールあたり2.5万円を支援します。

(38万円)

生産拡大への機械・施設の導入

麦・大豆の生産拡大に向けて、生産性向上や効率化に必要な機械・施設(50万円以上5,000万円未満)の導入及びリースに支援します。

(245万円)

新たな営農技術等への取り組み

和寒町地域農業再生協議会が定めた左表の取り組みに対して10アールあたり上限1万円まで支援します。

(743万円)

支援対象となる取り組み	
排水対策技術の導入	2,000円/10a
土壌診断に基づく土づくり	3,000円/10a
スマート農業技術を活用した生産の高度化・省力化	5,000円/10a

スマート農業への支援拡大を

GPS搭載無人機なども対象に

問 スマート農業とは具体的に
はどのようなことが。

要望

今後ドローンに限らず、GPS

答 基本はドローンによる農業
や肥料の散布。

問 GPSに関するメニューは
含まれていないのか。

Sを活用した農機具や、体に装着して軽量化を図る※アシスト
スーツなど様々なスマート農業
があるので、それらも対象となる
よう国へ要望してほしい。

※アシストスーツとは…

答 ドローンを基本的に対象として
いるので、GPSについては国が
定めた取り組み内容に含まれて
いない。

荷物や重量物の持ち上げ・持ち
下げの際にかかる、作業者の腰・
身体的負担を軽減する目的で開発
された製品



GPS自動操舵のおかげで真っ直ぐ作業
してくれて、条間も正確なので後の除草等
の管理作業もGPSにおまかせ。めっちゃ楽。
でも作業機の付けかえは、めっちゃ大変。
国と町には作業の軽労化推進を強く求め
ます。

大西和穂さん（三和）

補正予算一覧表

（1万円未満切捨て表記）

一般会計	補正額	補正前の額	補正後の額
一般会計	1694万円	45億9529万円	46億1224万円
総務費	193万円	公共施設総合管理計画改定 業務委託、バス待合所・停 留所の撤去費用	
民生費	7万円	費用弁償	
衛生費	468万円	会計年度任用職員報酬、各種 手当、新型コロナウイルスフ クチン接種業務委託ほか	
農林業費	1026万円	持続的畑作生産体系確立緊急 支援事業補助、麦・大豆 生産技術向上事業補助	
国民健康保険 （診療所施設勘定）	40万円	職員各種手当	
簡易水道事業	167万円	各戸水道メーター取替工事、 配水池改修工事	
介護保険 （保険事業勘定）	3566万円	介護給付費負担金国庫・支 払基金・道返還金、地域支 援事業交付金国庫・支払基 金・道返還金ほか	

不要なバス待合所売却で町の収入に

リサイクルで財政と地球にもやさしく

町営バスがデマンド方式に変
更となり、待合所が不要となっ
たことから撤去費用を計上しま
した。

答 町のお知らせ版でバス待合
所の購入希望を募集したところ、
9月1日現在11棟（約
11万円）の応募があり、売却
が決まった。

ただし、売却の状況によつて
は撤去費用が減額になる可能性
があります。

今後使わなくなり処分でき
る財産は有償処分をし、財
源に充てていきたい。

問 売却の状況は。

7月27日開催
第3回町議会
臨時会

移転費用の補償に420万円
町長の給料5%減額

旧中和小学校舎の一部を家具
工房として利用していた賃借人
が、校舎内の床が広範囲に落ち
込んで利用が不可能であるた
め、賃貸借契約に基づき町に対
し修理をするよう申し出があり
ました。

町は修繕にかかる費用を見積
もりしたところ、高額となるこ
とが判明し、また築63年以上経
過した建物で、修繕後も多額の
費用負担が見込まれることか
ら、旧和寒中学校1階職員室等
への移転費用（電気工事費・暖
房設備費・機械等運送費など）
を補償することになりました。
この件での対応に遅れが生じ
たことの責任を取り、町長の8
月給料を5%減額する条例も併
せて可決しました。

10月17日開催
第4回町議会
臨時会

大雨による被害拡大で
増額補正

6月から8月に発生した大雨
被害の影響で、災害復旧事業の
当初予算が不足するため増額補
正します。

(700万円)

補 助 率
80%
災害復旧に係る事業経費
1件につき10万円以上
災害復旧事業の補助金額
1件につき200万円を限度 (1,000円未満切り捨て)



▲冠水した三笠地区のキャベツ畑

みんなの声を国政に 意見書

- 国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書
- 軽油引取税の課税免除特別措置の継続を求める意見書
- 肥料価格高騰対策並びに畑地化促進事業等の財源確保を求める意見書

提出者 酒向 勤

提出者 村岡敏一

意見書は全て可決し、関係行政省庁などに提出しました。

定例会・臨時会の議案と議決結果、意見書は
和寒町ホームページの議会事務局で公開中！



議会へのご意見、お問い合わせは下記まで

gikai@town.wassamu.lg.jp

議会動画閲覧統計 令和5年6月定例会

一般質問 5 人
総再生回数 263 回
総再生時間 23.9 時間



問 林業と木材産業の未来ビジョンは 答 産業の発展に努める

問 学校へのエアコン設置は 答 早急の設置を実現したい



遠山優太議員



林業と木材産業の今後の取り組みは

ゼロカーボン宣言をしている本町は、再生可能エネルギーとして木質バイオマス燃料の安定的な確保と、活用による森林資源の地域内循環利用を図っている中において、林業と木材産業振興の今後の取り組みは。

奥山町長

造林事業の推進が図られるよう道と連携するとともに、和寒町森林整備計画に基づき各種施策を実現しながら、2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指し達成できるよう努める。

○再質問

木質バイオマス燃料製造を中心に、本町の林業活性化を見据えた森林資源の活用を拡大させていくべきでは。

奥山町長

国や道を中心に時代や環境の変化に伴う情報収集等を行いながら、森林整備計画に反映していくことも含め検討していく。



▲国内では新たな木材需要の創出が模索されている

○再質問

令和6年度から課税される森林環境税（納税義務者 年額1人1,000円）は市町村独自で地域活性化にも使用できることから、今後の活用と使途は。

産業振興課長

関係各所の意見を取り入れながら、森林整備事業を中心に活用していく方向で検討している。



▲子ども達の熱中症対策は急務

熱中症対策にエアコンを

学校における熱中症等の健康被害を未然に防止することや、災害発生時における地域の避難場所としての環境改善ということからエアコン設置の考えは。

沓澤教育長

現在、小・中学校の教室等にエアコンを約24力所設置した場合の費用と国の補助金を調査中である。

早期に設置できるようにしたい。

小野田久美子議員



問 学校の女子トイレに生理用品設置を 答 保護者の意見も含め学校と相談

問 こども誰でも通園制度(仮称)とICTは 答 現場で何ができるか検討したい

急に生理が来ても大丈夫と
いう安心感のために

誰でも気軽に使えるよう、和
寒小中学校の女子トイレの個室
へ生理用品の設置を要望する
が、考えは。

沓澤教育長

現在は、保健室に常備して必
要な児童に対して個別に配布し
ている。

保健室を利用することで、生
理用品が買えない、単に忘れた
などの把握や健康状態を知るこ
とができ、教育的な機会となっ
ている。

本町でも今までの取り組みを
活かしつつ、トイレにも設置で
きないか、保護者の意見も含め、
学校と相談する。

保護者の要望に応えて
誰でも通園できる体制を

国は、「こども誰でも通園制
度(仮称)」を来年度から本格
実施するようだが体制は。

保護者への連絡、情報共有や
職員の業務負担軽減、保育の質
や働きがいの向上を目指すため

に、ICTシステム(スマホア
プリ)を導入しては。

奥山町長

保護者の要望にできる限り応
えるように努めているが、0歳
児や一歳児の利用が多い時に
は、職員のやりくりがつかない
ので断る事もある。

利用した保護者からは、「育
児負担の軽減になった」「子ど
もを気にせず自分の通院や用事
が足せる」「同じ年齢の子とも
と交流が図れてありがたい」と
の声が寄せられている。

保育所ではスマホアプリ(マ
チコミ)の活用により連絡を一



▲少子化対策の効果は一つ一つの積み重ね

斉送信し、給食では栄養管理ソ
フトも導入している。

今後は、ICTによる保育業
務の効率化も検討する。

○再質問

0歳児から一時保育できない
のか。

保健福祉課参事

一時保育で0歳まで枠を広げ
た場合、1名預かる際には保育
士1名を付けなければならな
いので、今は厳しい。

国の動きと合わせて、現場で
何ができるか検討したい。

問 農地及び農業用施設の災害復旧は
答 必要な補正予算を提案する

問 今後のスポーツ振興は
答 町民が楽しめるスポーツの場を検討



池澤哲也議員



スピード感を持った災害復旧を

本年6月下旬から8月上旬にかけて発生した大雨災害による、農地及び農業施設の被害と復旧状況は。

奥山町長

特に8月5日から6日にかけの大雨は、121.5ミリを記録し、農地の灌水や浸水、排水の埋塞^{まいそく}や農道の洗掘、法面崩落などが発生した。

災害復旧に要する経費の8割補助で、上限200万円とする「農地及び農業用施設災害復旧事業」の申請をとりまとめた結果、当初予算の300万円を大幅に超える見込みのため、今後必要な補正予算を提案したい。

○再質問

予算が不足するため、7月に被害を受けた農地等の復旧が進んでいない。

当初予算を増額し、優先順位をつけて、先に被害を受けた部分から、復旧を進めるべきでは。また、災害に遭わない予防的対策も必要ではないか。

奥山町長

次年度の予算では、災害対策として予防策も含め検討する。

世代を問わず参加できるユニスポーツ（ポッチャやモルックなど）の実施を

沓澤教育長

ユニスポーツは、競技性が少ない分ゲーム性はあり、皆さんが楽しめる内容である。今後、是非実施を検討したい。

○再質問

テニスコートを水はけの良いオムニコートへの改修は。

沓澤教育長

テニスコートの全面改修には、6千万円程の費用がかかる。財政的に改修は難しい。

○再質問

南側パークゴルフコースの利用状況と今後の在り方は。

奥山町長

現在、利用者は少なく、今後の在り方を議論している。



▲大雨で畑から土壌流失した菊野地区の農道

石田利美議員



問 これからの自治会組織の推進は

答 町民のニーズに寄り添う施策が必要

和寒町に住んで良かったと思えるまちづくりを

自治会組織が発足して16年が経過した。

これからも元気に暮らしていくためにも新たな取り組みの推進は。

奥山町長

住民と行政との協働による住民主体のまちづくり組織の役割が住民自治の原点。

自治会が主体的、自主的な活動を行えるよう、助言や支援に努めていく。

新たな取り組みの推進は、町民のニーズに寄り添う施策が必要で、自治会の意見を尊重し検討していく。

○再質問

各自治会で、どれ位の人が防災士を取得しているのか。

総務課長

各自治会に防災士の資格取得をお願いし、現在7つの自治会で16名の防災士がいる。



▲自治会の防災士が実施した「防災のつどい」

○再質問

自治会に担当職員を配置していたが、無くなった理由は。

総務課長

自治会の地域担当職員制度は当初3名を配置し、運営や地域活動の相談、課題解決の手伝いを目的とした。

その中で課題や問題が生じた場合、行政に直接相談することが増えたため、担当職員への相談事案が減少した。



▲自治会が実施した「ふれあい昼食会」

平成31年に各自治会へアンケートを行い、それらの意見を踏まえて令和2年度で廃止となった。

○要望

現在、会員の高齢化に伴い、資料を作るのが大変な自治会もある。

担当職員に手当を支払い、自治会の運営が円滑に進み、衰退しないように支援していただきたい。

追跡! あの一一般質問 どうなった?

令和4年発行(第106号から第109号)の議会だよりに掲載された一般質問が、その後町政にどう反映されたのか、質問した議員が追跡調査を行いました。



▲議会だより106号



▲議会だより107号



▲議会だより108号



▲議会だより109号



農業

池澤 哲也 議員

2022年11月発行
フットサム109号 掲載

問 持続可能な農業政策は

飼料・肥料を含む農業資材及び燃油価格高騰による、本町における農業経営への影響は。

国の肥料高騰対策に加え、本町独自に実施した一律10万円の支援金だけでなく、更なる追加支援が必要では。

答 飼料・肥料の高騰は町も対応策を検討する

町内農業経営における影響額として、肥料では昨年6月から5月までの1年間で、1億9,839万円、配合飼料は1,728万円、免税軽油は992万円となり、合わせると2億2,600万円と試算した。

国の動きもあるが、町としても別に考えなければならないと思っている。

情報収集しながら関係機関と連携して対応策を検討する。

追跡!

農業者へ10a当たり 1,000円を追加支援

当初、農畜産物の販売農家180戸へ一律10万円を支援したが、作付け面積に応じた追加支援として、50戸300haを除く130戸3,600haに対して、3,600万円の追加支援を2022年12月に実施した。



▲日本有数の作付面積、南瓜の収穫作業



林業

村岡 敏一 議員

2022年11月発行
ワットサム109号 掲載

問 森林資源管理と活用は

本町の約65%を占める森林面積は、二酸化炭素吸収資源として大きな役割を果たしている。

脱炭素資源としての森林整備に対し、*森林環境譲与税の活用をさらに拡充してはどうか。

答 森林環境譲与税と資源の有効活用に努める

平成31年3月に「森林環境税」及び「森林環境譲与税」が創設され、本町でも条例を制定。

当税の目的に沿って、下草刈り・殺鼠剤・根踏み・間伐の森林環境整備に活用しており、ゼロカーボンの実現を図る上でも重要と位置づけ、森林資源の有効活用に取り組んでいく。

※森林環境譲与税

令和6年度から課税される森林環境税（納税義務者 年額1人1,000円）に先駆け、森林の管理、環境維持向上のため国から譲与される税。



教育・建設

小野田久美子 議員

2022年11月発行
ワットサム109号 掲載

問 安全安心な教育環境への対応は

学校への冷房設置の判断は。

危険な通学路である国道40号線日ノ出の歩道設置に関してその後の経過は（令和3年にも質問）。

小中学校の遊具、設備の点検はどのように実施しているのか。

答 冷房設置は動向も見ながら検討

歩道設置は、開発局で予算付けに取り組んでおり、町としても早期改善に向けて働きかける。

本町の小中学校では、安全教育の指導計画に基づき、遊具や設備の点検を行っている。

令和5年度、小学校の遊具を改修して10年が経過するので、独自に専門業者による安全点検を予定している。

追跡！

補助率の見直し 事業新設・拡充へ

令和5年度より拡充として民有林の切り捨て間伐を推進し、根踏みや殺鼠剤、下刈り事業の補助率と上限単価を見直した。

また、近年活用が見込まれるコンテナ苗や補植事業及び造林事業の上乗せ補助を新設し、森林環境譲与税の有効活用ができるように改正した。



▲アカエゾマツのコンテナ苗木

追跡！

国道40号線スキー場側 令和6年度歩道整備へ

昨年11月に和寒町、士別警察署、開発局とで現地合同点検後、町単独で中央関係先（事務次官、道路局、北海道局）へ要望。

今年4月、和寒歩道整備（スキー場側、約150m）新規事業化決定で来年度工事予定。

小学校の遊具について、塗装剥がれ補修は昨年10月、点検は今年6月に実施。



▲歩道設置が待たれる国道40号線



教育

窪田 裕二 議員

2022年8月発行
フットサム108号 掲載

問 中学校部活動の今後のあり方は

運動部活動の地域移行に関する改革の提案書が示された。

和寒中学校の部活動加入率は70%を越えており、今後の進路にも影響が出ないようサポート体制を早急に構築する必要があると考えるが。

答 実現可能な具体策を検討する

地域に部活動を移行した場合、指導する人材や安全性をどう担保していくかが課題。

少年団などの地域指導者の必要経費等も国や道の関係機関に要望をしながら町としてどんなことができるか考えていく。

追跡！

令和5年度協議会設置

6月26日に部活動のあり方についての説明会を開催。

保護者やスポーツ団体関係者、地域住民の方など43名が参加され、国や道の部活動改革の内容や先進事例について説明、部活動に対する意見等があった。

8月23日に第1回和寒中学校部活動のあり方検討委員会が開催され、委員の選任や今後の活動などが話し合われた。



福祉

酒向 勤 議員

2022年11月発行
フットサム109号 掲載

問 本町人口減の要因は

自然減による転出者が多いが、町立病院の診療所化後、健康なうちに離町される方が見受けられる。

町長の言う、住み続けたいまちづくりから外れているのでは。

答 転出による社会減の影響が多い

行政のサービスだけではなく、サロンなど行政と住民の間にどのような仕組みが必要か議論してきた。

本町の課題である芳生苑の建替えを、まちづくりの起爆剤にするなど、人のつながりができる場所を考えていくタイミングに来ている。

建替えでは、子どもから高齢者・障がい者まで誰でも集える環境を作る。

追跡！

ふくしのまちづくり
基本構想策定へ

基本構想策定費用2,250万円を令和5年度予算に計上。

第1回町議会定例会の町長による町政執行方針では、令和5年度に基本構想を策定することを踏まえ、専門的な民間の知見も取り入れることで、高齢者はもとより障がい者や子ども達などの多様なニーズに対応し、本町の社会的資源を有効に活用できる機能も合わせていくと表明。

公募型プロポーザルにより4月24日受託候補者を選定し、第1回和寒町ふくしのまちづくり町民サミットが6月18日に開催された。

和寒町並びに議会の総意で福祉事業が動き出した。



観光

石田 利美 議員
2022年8月発行
フットサム108号 掲載

問 塩狩駅の今後は

令和3年4月から寄付金やふるさと納税などで維持費を出しているが、存続のメリット、デメリットと塩狩駅の今後をどのように考えているか。

答 塩狩駅の存続は不可欠

塩狩駅周辺には和寒町をPRするための観光資源が多くあり、駅を存続するメリットは十分にあるため、駅の存続は不可欠と考える。

しかし、駅の維持費が当初見込みより多額になっており、今後もふるさと納税などの寄付で経費を賄えるかが懸念される。

追跡！

塩狩駅の維持管理費
昨年度より2倍以上増加

令和5年度は、塩狩駅の維持管理費を603万円予算計上しており、令和4年度と比べて2倍以上増加している。

要因としては、塩狩駅の除雪費用などになっており、今後の寄付金やふるさと納税だけで賄うことは難しくなっていくことから、改めて関係機関などと協議していく。



▲維持費の捻出が課題になっている塩狩駅



福祉・農業

中原 浩一 議員
2022年5月発行
フットサム107号 掲載

問 新年度予算と農業対策は

将来を見据えた新たな政策予算の計上は。

また、農業での※水田活用の直接支払交付金見直しにより、令和8年度までに水張しなければ交付対象外となることから、大区画整備が必要と考えるが。

答 6月定例会で事業予算を計上する

持続可能な自治体を目指し、事業予算を計上する。

また、土地改良整備では北海道開発局旭川開発建設部や上川総合振興局などと、意見交換を行ってきた。

追跡！

本年度、将来を見据えた
新規事業の予算計上

令和5年度は、ふくしのまちづくり基本構想等策定事業が新規予算として計上された。

農業分野では、地域でまとまった農地の大区画化など、土地改良事業を実施するには、期成会などが必要であり、土地改良費の負担軽減等も含めて、行政と関係機関の関わりが重要と考える。



▲北空知地区道営大区画整備

※水田活用の直接支払交付金
水田を活用して、麦、大豆、飼料用米等の作物を生産する農業者に対し、直接支払われる交付金。

パツと伝わる広報誌へチャレンジ！

「見たくなる議会だより」へ



▲寄居町議会の議場で、議会広報広聴特別委員会のみなさんと

広報誌の基本を学ぶ

9月26日、東京都の日経ホールで行われた町村議会広報研修会に参加しました。

弁護士 玉置奈々子氏による「広報担当者が知っておきたい法律知識」、メディアプランナー 白木一誠氏による「読者を夢中にさせる広報誌づくりの基礎の基礎」、グラフィックデザイナー 平本久美子氏による「パツと伝わる広報誌に！やってはいけないデザイン講座」を研修しました。

日本一の町村議会広報誌編集方針に衝撃

9月27日、埼玉県寄居町議会を訪問し、議会広報を研修しました。

同議会は、全国町村議会議長会広報コンクールで平成25年から9回入賞し、うち5回も最優秀賞を取られています。



▲編集方法など丁寧な説明を受けました

手に取って開きたくなるような表紙で、議会だよりの記事は町民が知りたいこと、興味を持っていただけることを最優先にし、町民への取材から町への提言に繋げておられます。

広報広聴特別委員長より編集についての説明を受け、その中で「読まれない議会だよりに出す意味なし！」の編集方針に衝撃を受け、基本に返って紙面づくりに取り組んでいかなければならないと強く感じました。

この経験を糧により良い紙面づくりに努めていきます。

埼玉県寄居町・・・埼玉県の北西部にあり、人口は32,106人（令和5年4月1日現在）
大手自動車メーカーの製造工場などがある。議員定数は16人。

Topic 議会

こどもの遊び場・活動の場の充実
雨・雪を気にせず無料で利用



▲名寄市の商業施設にあるこどもの遊び場にここらんど

7月21日、各市町へ訪問して行政視察を行いました。

美深町議会では、令和7年度に建設が予定されている特養の移転改築、農業関係の施策・補助、議会活性化、名寄市は商業施設内に整備された、こどもの遊び場「ここらんど」、下川町議会は議会活性化について意見交換をしました。

新たな設備や施設をチェック

10月25日、常任委員会の所管事務調査として、設備や施設を視察しました。



▲三笠山配水池



▲活性化センター 無加温二重ハウス

表紙の説明

お客様との関わりが私のやりがい

今回は、和寒郵便局に勤務する入社3年目の剣淵町出身、梅津佳奈さんです。

担任の先生からの進めもあって、郵便局に就職したという梅津さん。

元々、人と話すのはあまり得意ではなかったのですが、窓口や渉外の仕事を通じて、今はお客様と話しをする事が楽しく、やりがいを感じていますと笑顔で話をしてくれました。

休日には、好きな音楽を聴いたり、友人とカフェ巡りをして楽しんでいるとのことでした。





10月4日、トランポリンクラブ少年団の子ども達や関係者にお話を聞かせていただきました。



団員にインタビュー

活動内容を教えて！

現在は、幼児から小学生までの16名で、練習は水、木、土曜日の18時30分～20時30分の週3回総合体育館で行っています。

また、年に2回程度行われる大会に出場する他、マット運動、跳び箱を使ったユニークな練習方法も取り入れています。

楽しいことは何ですか？

鬼ごっこやシャトルというゲームで遊びながら練習をすることです。

また、高く飛べたり、空中での回転や二人一組で飛んで同じ動きをするシンクロの練習をすることも楽しいです。



目標は何ですか？

空中での色々な回転技ができるようになることや、大会で入賞をしたりすることです。

40年近くも監督をしている合田監督はどんな人？

怒るとちよつと怖いけど、とても優しくみんな大好きな監督です。



保護者にインタビュー

練習環境はどう感じていますか？

子どもの運動機能を高められるトランポリングができる環境はとてもありがたいです。

他の市町村に話を聞くと、トランポリンの器具を収納する場所が無かったりして気軽に練習ができないようなので、和寒町の子ども達は恵まれていると感じています。

トランポリンクラブ少年団の取材を通して

子ども達がとても明るく楽しみながら練習を行っているのが印象的でした。

また、合田監督を中心とする指導者の方々が一人一人を尊重しながら指導をしていることが、良い雰囲気を作っていると感じました。

今後多くさんの子ども達にトランポリンを通して運動機能の向上と大会での活躍を期待します。

議会傍聴のご案内

定例会の予定

12月18日(月)・19日(火)

みなさまのお越しをお待ちしています

9月定例会の傍聴者

17名

広報委員の一言

あの手この手で人を呼び込もうとする媒体のうち、最近ではインターネットを活用した広告が多くなっています。この広報誌もその一つであります。

町民の皆様には、「議会の行方を注目してもらいたいし、時間が許す方には傍聴もしてもらいたい」そんな想いと、わかりやすく、できるだけ簡潔に伝えたい一心で作成しています。

これからも1号1号完成度を高めていけるよう研鑽に励んでいき、「議会だよりフットサム」に注目して頂けると嬉しい限りです。

(優太)